

4 定住自立圏共生ビジョン

4-1 圏域の将来像

1) 圏域の将来像

小山地区定住自立圏は、豊かな自然・歴史・文化等の地域資源を最大限に活用し、新小山市民病院を中心に自治医科大学附属病院等との連携による充実した地域医療体制や圏域住民の身近なエリアでの自助・共助による支援体制づくり、教育、環境共生、災害対策等生活機能の強化による安全・安心な暮らし、圏域内を東西南北に交差する鉄道・国道を軸とした恵まれた立地利便性を生かした地域間交流、交通ネットワークの強化による人の交流と産業の振興を進め、誰もが住みたい・住み続けたいと思える魅力的かつ持続可能な定住自立圏を目指します。

豊かな自然・歴史・文化・産業をともに
つながり支え合う 安全・安心 定住自立圏



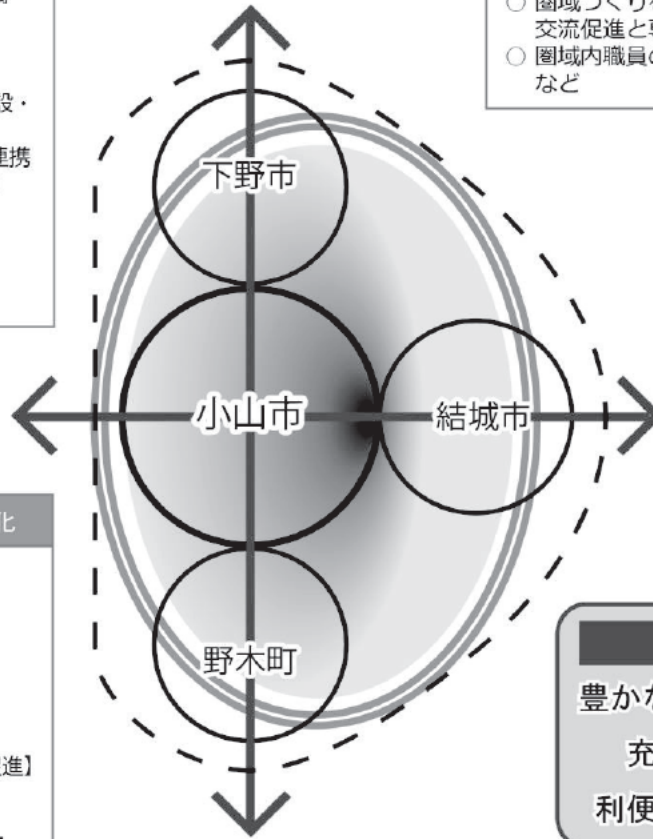


1) 生活機能の強化

- 新小山市民病院・自治医科大学附属病院の連携
【健康・医療・福祉体制の充実】
- 子育て支援・教育基盤の充実
- 文化施設・社会教育施設・スポーツ施設・図書館の利用ネットワークの構築
- J R宇都宮線沿線・新4号国道の連携
【産業振興・雇用確保・企業誘致】
- 自然環境や本場結城紬など誇れる史跡・文化財等を活用した観光振興など

3) 圏域マネジメント能力の強化

- 圏域づくりを担う職員の資質向上・交流促進と専門家等の人材確保・共有化
- 圏域内職員の人事交流など



2) 結びつきやネットワークの強化

- 地域公共交通の連携強化・道路ネットワークの形成
【市町間道路の整備促進】
- 地域の生産者や消費者等の連携
【地産地消】
- 住みたい・住み続けたい安全で安心・快適なまちづくり
【定住促進・若い世代の移住定住促進】
- 渡良瀬遊水地保全活動等の市民活動の交流促進
【市町民参加・協働のまちづくり】など

圏域の強み

豊かな自然・歴史・文化
充実した地域医療
利便性の高い立地条件

3) 将来推計人口及び高齢化率

小山地区定住自立圏は、構成市町の連携・協力により地域活性化を図り、魅力ある圏域を形成することで、圏域への新しい人の流れをつくり転入促進につなげるとともに、誰もが住みたい・住み続けたいと思えるような住環境を充実させることにより転出者数の増加を低減させ、圏域における人口減少の抑制を目指します。

■ 将来推計人口及び高齢化率

	実績値		目標値	参考値
	平成 27 年 2015 年	令和 2 年 2020 年	令和 7 年 2025 年	令和 12 年 2030 年
将来人口	303,077 人	302,477 人	299,627 人	297,844 人
高齢化率	23.5%	27.0%	28.4%	29.3%

※国勢調査（10月1日現在）、令和2（2020）年以降は各市町人口ビジョンによる。

※結城市の令和7（2025）年将来人口及び、令和7（2025）年、令和12（2030）年の高齢化率は、国立社会保障・人口問題研究所推計値より引用

4-2 連携・共生の基本方針

圏域の将来像を実現するため、次の圏域発展の3つの視点と3つの目標像のもと、連携する政策分野を踏まえて圏域づくりを進めます。

1) 圏域発展の3つの視点

● 連携：一体的につながり「連携」する圏域づくり

【段階的な連携の強化・深化】

圏域共通の課題解決や一体的な発展に向けて、更なる広域行政に取り組むとともに、中心市と連携市町との役割分担と連携・協力のもと、協働による圏域づくりを進めます。



● 共生：相互に支え合い「共生」する圏域づくり

【個性や魅力の発揮と強みの相乗】

構成市町それぞれの地域特性や特色あるまちづくりを尊重しつつ、相互に関わりながら、圏域全体としての個性や魅力を発揮できる圏域づくりを進めます。



● 創造：新たな未来を「創造」する圏域づくり

【多様な制度の活用による連携の展開】

長期的な視野に立ち、圏域の新たな価値観や魅力を創出するなど、社会情勢の変化に応じた柔軟かつ先進的で、持続的発展が可能な圏域づくりを進めます。





2) 3つの目標像

● 豊かな地域資源（自然・歴史・文化）を生かした魅力溢れる「まち」

ラムサール条約湿地の渡良瀬遊水地や思川・鬼怒川等の河川、平地林、田園などの豊かで貴重な自然環境と、ユネスコ無形文化遺産登録の結城紬、史跡・文化財施設等の古い歴史と誇れる伝統文化等の地域資源を生かした広域観光・連携ネットワークの構築により関係人口・交流人口の拡大と若い世代の移住・定住を促進し、人口減少の抑制と安定した人口構成を持続する元気で魅力溢れる「まち」を目指します。

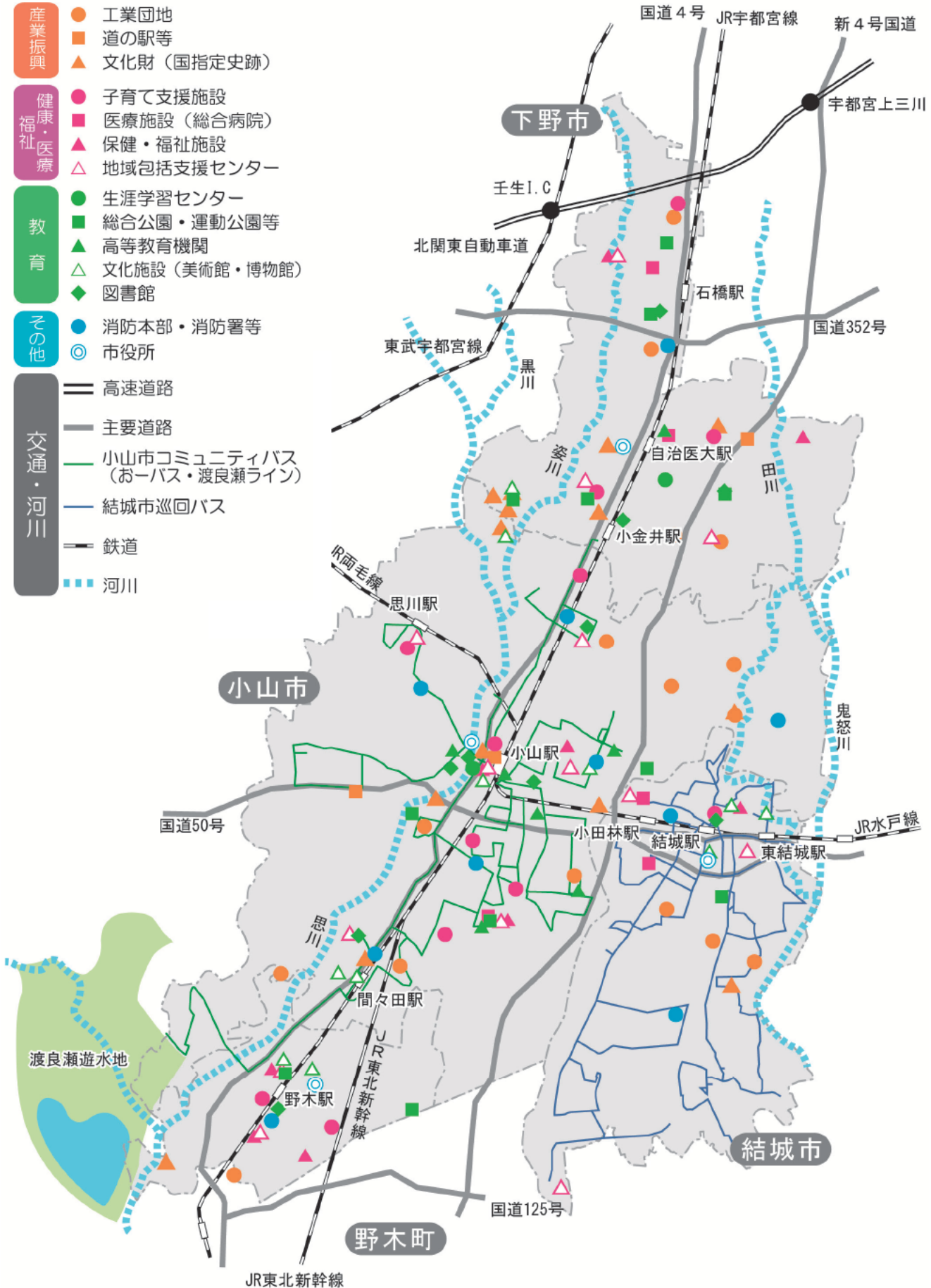
● 充実した地域医療体制に守られた健康で安全・安心な「暮らし」

新小山市民病院・自治医科大学附属病院等の医療機関や健康づくり・子育て支援・福祉環境、防災・消防体制が充実し、また、生涯学習や文化・スポーツ施設、道路・地域公共交通のネットワーク等、快適で便利な居住環境が整った、住みたい・住み続けたいと思える「暮らし」を目指します。

● 利便性の高い立地条件を生かして呼び込む活力ある「ひと・産業」

北関東の入り口となる立地利便性と、東北新幹線や新4号国道・国道50号など、広域的な鉄道・道路網が整った高い交通利便性を生かして人と企業を呼び込み、農業・商業・工業・観光の基盤整備と連携、企業誘致の促進や雇用の確保により、働きやすくて活力溢れる「ひと・産業」を目指します。

公共公益施設現況図





4-2 連携・共生の基本方針

参考：持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）

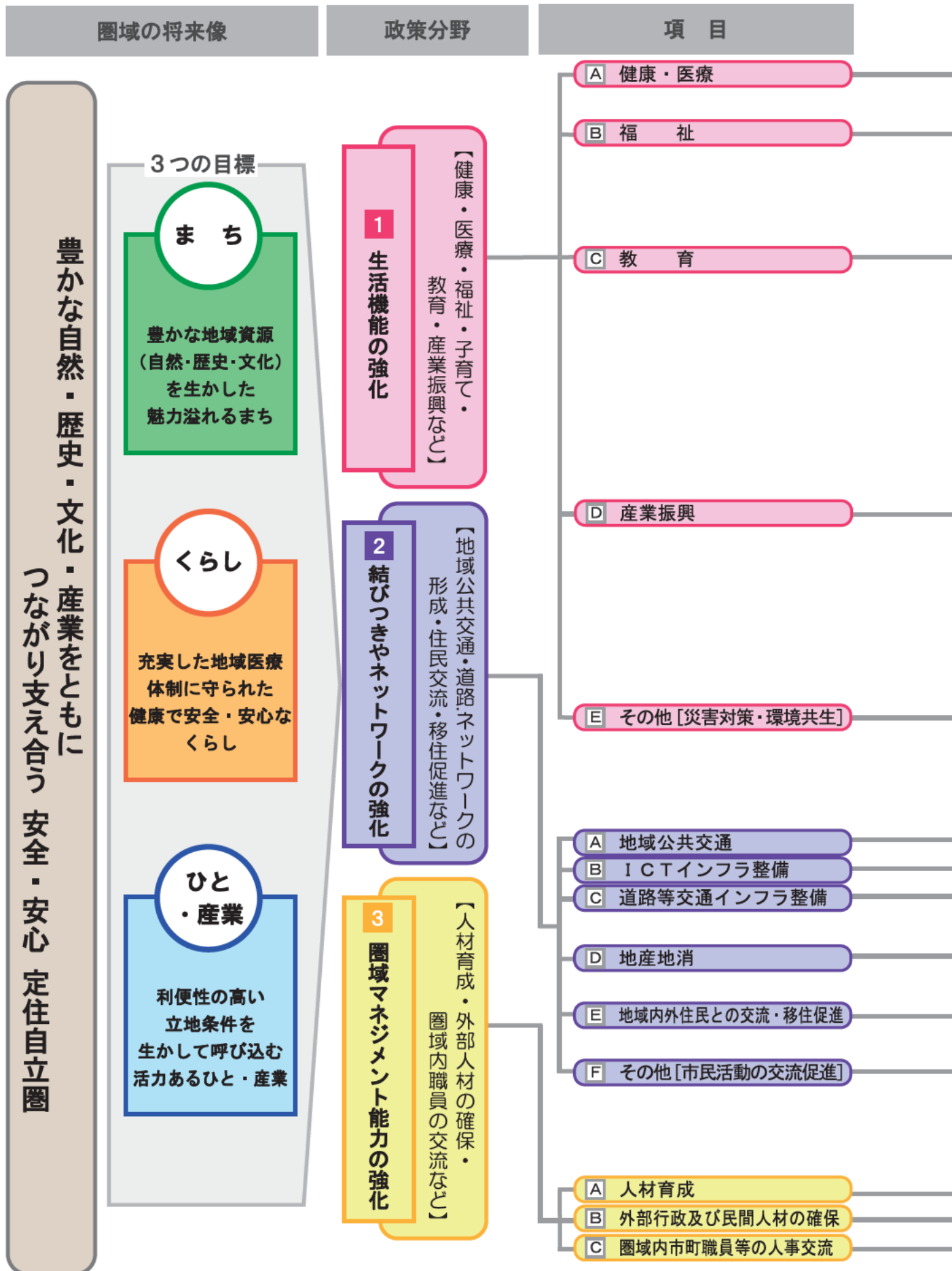
平成13（2001）年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28（2016）年から令和12（2030）年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

■ SDGsの17の目標（【】内は関連する政策分野項目）

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>①あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p> <p>【1-B】</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>⑩各国内及び各国間の不平等を是正する</p> <p>【1-C】</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>②飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p> <p>【1-D、2-D】</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>⑪包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p> <p>【1-C、1-E、2-A、2-B、2-C、2-E】</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>③あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> <p>【1-A、1-B、2-E】</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>⑫持続可能な生産消費形態を確保する</p> <p>【1-E】</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>④全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>【1-C】</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>⑬気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p> <p>【1-E】</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>⑤ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う</p> <p>【1-C、1-D】</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>⑭持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>⑥全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> <p>【2-D】</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>⑮陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p> <p>【2-F】</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>⑦全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>⑯持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> <p>【1-C、2-F】</p>
<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>⑧包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p> <p>【1-D、2-D】</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>⑰持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p> <p>【2-F】</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>⑨強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p> <p>【1-D、1-E、2-A】</p>		

4-3 ビジョンの基本体系





政策分野別具体的な取組				関係市町			
中項目	No	事業名	頁数	小山	下野	野木	結城
a 地域医療ネットワークの連携強化	1	救急医療体制の充実強化	27	●	●	●	●
	2	地域医療連携体制の充実強化	28	●	●	●	●
a 子育て環境の整備	3	病児保育事業の連携	30	●	●	●	●
b 在宅医療・介護体制の整備	4	高齢者と地域をつなぐ仕組みづくり	31	●	●	●	●
	5	民生委員活動の連携・推進	32	●	●	●	●
c 障がい者支援体制の充実	6	地域生活支援事業（日中一時支援、移動支援）の利用促進	33	●	●	●	●
a 生涯学習の推進	7	生涯学習を通じた交流推進	35	●	●	●	●
b 小中学生の交流促進 ※小中学生には義務教育学校生を含む	8	中学生のスポーツ交流	36	●	●	●	●
	9	総合的な学習の時間における地域学習の受入	37	●	●	●	●
	10	平和事業を通じた交流推進	38	●	●	●	●
	11	児童生徒の学習交流体験事業の推進	39	●	●	●	●
c 歴史・文化的資源の活用	12	史跡・文化財施設の広域連携活用	40	●	●	●	●
d 公共施設の相互利用	13	文化施設・社会教育施設等の相互利用	41	●	●	●	●
	14	圏域内公共スポーツ施設の相互利用	42	●	●	●	●
	15	図書館相互利用体制の充実強化	43	●	●	●	●
a 企業誘致・雇用の確保	16	雇用・企業誘致の広域連携による推進	45	●	●	●	●
b 観光資源の開発・活用	17	ワーク・ライフ・バランスの推進	46	●	●	●	●
	18	「史跡」と「花まつり」を活用した観光振興	47	●	●		
c 地場産業の振興	19	本場結城紬を活用した観光振興	48	●			●
	20	本場結城紬の情報発信、販売網の拡大	49	●	●		●
d 農業の振興	21	畜産防疫情報の交換・連携	50	●	●	●	●
a 消防・防災協力体制の強化	22	鳥獣被害対策事業	51	●	●	●	
	23	大規模災害時における相互協力	53	●	●	●	●
	24	消防体制の連携強化	54	●	●	●	●
b 環境に配慮したごみ処理の推進	25	水道災害時相互応援活動の推進	55	●	●	●	●
	26	効率的なごみの共同処理及び3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	56	●	●	●	
a 地域公共交通の連携強化	27	コミュニティバス、デマンド交通の連携強化	59	●		●	●
a ICTに関する情報の共有・発信力強化	28	ICTに関する情報の共有等による業務改善	61	●	●	●	●
a 道路ネットワークの形成	29	小山下野線西通り整備事業の推進	63	●	●		
	30	県道及び小山下野木線等市町間道路の整備促進	64	●	●	●	●
a 地域内消費の推進	31	地域内経済循環の活性化に向けた普及啓発事業	66	●	●	●	●
a 移住・定住促進につなげる取組の推進	32	圏域内イベントによる交流	67	●	●	●	●
	33	移住・定住促進のための連携強化	69	●	●	●	●
a 渡良瀬遊水地の保全・利活用	34	婚活事業の連携・推進	70	●	●	●	●
	35	渡良瀬遊水地第2調節池における市町民参加型の湿地保全活動	72	●		●	
b 市民活動の交流促進	36	コウノトリ・トキの野生復帰に向けた取組	73	●		●	●
	37	市民活動の交流促進連携事業の実施	74	●	●	●	●
a 圏域内職員の資質向上・交流促進	38	圏域内の広報紙の相互掲載	75	●	●	●	●
	39	職員研修制度の充実	77	●	●	●	●
a 専門家等の高度な人材の確保・共有化	40	外部人材の活用	79	●	●	●	●
a 職員の人事交流	41	圏域内職員の人事交流	81	●			●

4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

健康づくり・医療・福祉体制や子育て支援・教育基盤の充実を図るとともに、立地特性や交通網等の利便性と地域資源を生かした、農業・商業・工業・観光の振興と雇用の確保及び防災・消防体制の連携強化のほか、循環型社会の構築を図るため、生活機能の強化を進めます。

3 すべての人に健康と福祉を



A 健康・医療

全ての住民が元気でいきいきと暮らせる圏域を目指し、圏域住民が心身ともに健康で元気に活動し、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、新小山市民病院や自治医科大学附属病院等の救急医療機関の役割分担のもと、適切な医療提供体制の構築に向け、圏域内のバランスを考慮した救急医療体制の充実・強化と、地域医療・関係機関の連携体制の充実・強化に取り組めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
救急医療体制の充実	小山夜間休日急患診療所の利用者数の割合 (人口10万対)	小山市：55.5% 下野市：9.0% 野木町：24.0% 結城市：11.5%	小山市外の圏域 住民の利用増	1
地域医療・関係機関の 連携体制の充実・強化	地域医療啓発事業の周知数	4件	12件以上	2



1 生活機能の強化

3 すべての人に健康と福祉を



A a 地域医療ネットワークの連携強化

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

1 救急医療体制の充実強化



1 事業概要

○（一次救急）小山市・下野市・野木町では、小山広域保健衛生組合が小山地区医師会に委託し夜間休日急患診療所を開設しているほか、小山地区医療圏域内市町が同医師会に在宅当番医を委託し運営している。また、結城市では日曜休日年末年始の昼間帯のみ在宅当番医制により実施している。今後は圏域全体のバランスを考慮した充実強化に取り組む。

2 期待される効果

- 「地域医療体制（救急医療）の充実した安心して生活できる圏域」としてのイメージ強化による定住人口の拡大
- 圏域住民に対しての安心してできる救急医療の提供

3 役割分担

- 小山市** 救急医療対策協議会や部会の開催
広域保健衛生組合、医師会及び関係市町との連絡会議等の調整
- 連携市町** 運営費の負担と救急医療対策協議会や部会、連絡会議等への参加協力

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	未定					
スケジュール	未定					

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

A - a 地域医療ネットワークの連携強化

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

2 地域医療連携体制の充実強化



1 事業概要

○小山地区医師会等と連携し、圏域住民向けの地域医療（地域完結型医療体制の構築や感染症予防対策）に関する啓発事業（講演会協働実施・実態調査・市民団体育成等）の情報を共有し、圏域で啓発事業参加を促進する。

2 期待される効果

○感染症予防対策が周知されることによる、まん延防止の強化
 ○感染症予防対策や地域医療に関心をもつ住民が増え、「地域医療連携体制の充実が図れ、安心して生活できる圏域」としてのイメージ強化による定住人口の拡大

3 役割分担

○小山市 各種啓発事業の実施及び啓発
 ○連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	未定					
スケジュール	未定					

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

B 福祉



地域の実情に応じた子育て支援サービスの充実や病児保育事業の連携など、少子化対策に向け、若い世代・子育て世代が働きながら安心して子育てができる暮らしやすい環境づくりに総合的に取り組めます。

また、高齢者や障がい者等が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護予防のための高齢者の社会参加の促進や、障がい者支援体制の充実を図るとともに、民生委員をはじめとする地域の代表・NPO・ボランティア団体等と連携しながら、地域で共に支え合う体制づくりに取り組めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
若い世代・子育て世代が働きながら安心して子育てができる暮らしやすい環境	病児保育事業の利用状況	小山市 70 人 下野市 11 人 野木町 5 人 結城市 1 人 (R 1)	▶ 連携市町の 利用者の増加	3
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みのあるまち	地域で何らかの活動に参加している高齢者の方の増加	小山市 50.5% 下野市 52.6% 野木町 53.4% 結城市 20.3%	▶ 全市町で参加 率の増加	4
障がい者が住み慣れた地域で安心して生活するための支援体制	関係市町における相互利用可能な移動支援事業所数 [累計]	7	▶ 15	6

B a 子育て環境の整備

【関係市町】 ▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

3 病児保育事業の連携



1 事業概要

- 下野市、野木町と「新小山市民病院」の病児保育室利用について受託契約を締結する。
- 結城市の「城西病院」と小山市の「新小山市民病院」の病児保育施設についての相互利用協定を締結する。
- 病児保育施設の連携利用を促進するため、必要とする児童の保護者に対し情報提供を継続して実施する。

2 期待される効果

- 病児保育施設の利便性向上（広域的利用）による圏域の子育て環境の充実

3 役割分担

- 小山市** 事業の推進
- 連携市町** 相互利用又は業務委託による事業の推進

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	8,378	8,378	8,378	8,378	8,378	41,890
スケジュール	推 進				→	/

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

1 負担を
なくそう3 すべての人に
健康と福祉を

B b 在宅医療・介護体制の整備

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

4 高齢者と地域をつなぐ仕組みづくり



1 事業概要

○新しい生活様式を取り入れた介護予防、地域づくりの取組や情報発信方法について共有し、相互に有効活用する。

2 期待される効果

○高齢者の社会参加の促進による、要介護状態に対する予防及び地域での見守り体制の充実

3 役割分担

小山市 情報交換会の運営全般

連携市町 会議への参加及び情報収集・交換

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	令和5(2023)年度以降の事業費は事業の進捗及び協議により決定する。			
スケジュール	検討・実施	実施	推進	→		

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

5 民生委員活動の連携・推進



1 事業概要

- 民生委員の活動内容や選任の方法等の情報交換を行う。
- 互いの活動の情報や意見の交換、民生委員児童委員協議会の交流などを行う。

2 期待される効果

- 業務の効率化による負担の軽減
- 人材の確保、資質の向上
- 地域における民生委員活動や事例を通じた意見交換等による課題解決策の検討

3 役割分担

- 小山市 情報交換会、研修会の企画運営
- 連携市町 会議等への参加、情報収集・交換

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費 (千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	継続推進				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

3 すべての人に健康と福祉を



B c 障がい者支援体制の充実

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

6 地域生活支援事業（日中一時支援、移動支援）の利用促進



1 事業概要

○障がい者に対する障がい福祉サービスの提供については、障害者総合支援法に基づく全国一律の自立支援給付と市町の実情に応じ実施される地域生活支援事業があり、地域生活支援事業は障がいの状況や本人の希望により、支給決定量等に応じて自由に選択することができる。今後、関係市町の移動支援事業所の情報共有を推進し、更なる支援体制の充実を図る。

2 期待される効果

○障がい特性に応じた移動支援事業所の利便性向上（市町を超えた利用等）による圏域内障がい者の安心できる住環境の実現

3 役割分担

小山市 利用を希望する市内の事業所の情報提供

連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	753	769	784	801	816	3,923
スケジュール	推 進					

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

C 教育



生涯学習講座やイベントの開催、中学生のスポーツ交流などを通じ、子どもから大人まで、圏域内で幅広い交流を持てる環境づくりを推進します。

本圏域には、ラムサール条約湿地の渡良瀬遊水地をはじめとする豊かな自然環境や、ユネスコ無形文化遺産の結城紬のほか、古代下野国の歴史、野木町煉瓦窯、結城廃寺跡や見世蔵など、誇れる史跡・文化財等があることから、地域に愛着を持つ心豊かな子どもを育てるため、地域学習や体験学習など、特色のある教育環境の充実や交流推進に取り組みます。

また、圏域住民が、生きがいを持ち、豊かでいきいきとした生活を送ることができるよう、文化施設・社会教育施設・スポーツ施設・図書館の相互利用の推進により、利便性の向上や特色ある運営充実を図るとともに、史跡・文化財施設の広域連携による活用促進など、イベント開催や住民の健康づくり・交流推進に取り組みます。

※小中学生には、義務教育学校生を含む

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
地域間での幅広い交流を持てる環境	関係市町からの生涯学習講座受講生受入数【累計】	230人	▶ 250人	7
特色のある教育環境の充実	小山市学習交流事業への連携市町からの参加人数【年間】	23人 (R 1)	▶ 45人	11
史跡・文化財施設の活用促進	関係市町で連携した歴史的資産活用の取組数(相互周知、パンフレット、スタンプラリーなど)【毎年1事業、目標年度で合計4事業】	4事業	▶ 8事業	12
公共・文化施設の利便性の向上	関係市町連携による公共スポーツ施設相互利用促進のためのPR事業の実施(1年に1回)【累計】	0回	▶ 3回	14



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

C a 生涯学習の推進



【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

7 生涯学習を通じた交流推進



1 事業概要

- 講座等の相互受講及びイベントへの参加などの交流を図る。
- 圏域内の共通課題を確認し、効果の高い学習内容や機会の充実を図り、地域で活動できる人材を育成する。

2 期待される効果

- 互いの情報交換や参加者の相互交流による受講生の増加・内容の充実などの相乗効果の向上
- 圏域の特性を生かしたボランティア等、人材の育成・確保

3 役割分担

- 小山市 講座等の情報発信及び受講生の募集
- 連携市町 講座等の情報交換や住民への情報提供

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	令和5(2023)年度以降の事業費は事業の進捗及び協議により決定する。			
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



C b 小中学生の交流促進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

8 中学生のスポーツ交流



1 事業概要

○スポーツ大会への招待や各種競技団体の自由交流などを行う。
(※平成 26 (2014) 年度から中学生運動部活動スポーツ交流事業を実施中)

2 期待される効果

○圏域内交流の活発化

3 役割分担

小山市 交流事業に関する検討・実施

連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費 (千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	見直し・ 実施	改善・実施	実施	→		

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

C-b 小中学生の交流促進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

9 総合的な学習の時間における地域学習の受入



1 事業概要

- 小山・結城両市の中学校・義務教育学校では、行政やボランティア団体の協力を得ながら、授業の中で「結城紬」の着心地体験を実施している。
- 今後、小山市と下野市・野木町との地域学習の受入について検討し、6年生の歴史学習を中心に実施する。

2 期待される効果

- 授業を通じての学び合いと交流推進

3 役割分担

小山市 各種資料・作品の交流及び結城市との生徒の相互交流

連携市町 各種資料・作品の交流及び小山市・結城市の生徒の相互交流

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	380	380	380	380	380	1,900
スケジュール	継続実施・ 調整	実施・推進	実施・推進	実施・推進	実施・検討	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

10 平和事業を通じた交流推進



1 事業概要

○ 2市1町の中学生による広島平和記念式典への合同派遣を実施し、派遣実施後には、派遣された中学生による報告会を開催する。

2 期待される効果

○ 2市1町の中学生の合同派遣による事業効果の向上と生徒間の交流促進

3 役割分担

- 小山市 行程・研修の手配及び連携市町との調整
- 連携市町 派遣団の結成及び随行

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費 (千円)	4,031	4,031	4,038	4,031	4,031	20,162
スケジュール	継続実施				→	/

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

C-b 小中学生の交流促進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

11 児童生徒の学習交流体験事業の推進



1 事業概要

- 白鷗大学・小山工業高等専門学校・関東職業能力開発大学校と連携し、将来を担う子どもたちの知的好奇心を刺激し学問へのあこがれを抱く学びの機会を提供する。
- 圏域内の小学校（義務教育学校）5・6年生及び中学1年生・義務教育学校7年生を対象に参加者募集を行う。

2 期待される効果

- 子どもたちの学びの意欲向上
- 実施大学等への進学率の増加

3 役割分担

- 小山市 事業の計画・実施、連携市町との連絡調整、参加者の募集
- 連携市町 事業実施協力、参加者の募集

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	635	635	635	635	635	3,175
スケジュール	継続実施				→	/

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



C 歴史・文化的資源の活用

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

12 史跡・文化財施設の広域連携活用

1 事業概要

○担当課間で検討会・情報交換会を開催し、パンフレット刊行、スタンプラリー等現況下で可能な取組を検討する。また、関係市町の施設の情報等を共有し相互に周知する取組を継続する。

2 期待される効果

- 圏域外からの来訪者及び圏域住民の広域的な回遊性の向上
- 各住民間の相互理解・相互連携の促進

3 役割分担

- 小山市 関係市町担当職員による検討会・情報交換会の開催
- 連携市町 事業等の情報交換や住民への情報提供

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	検討	実施			→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化



C d 公共施設の相互利用

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

13 文化施設・社会教育施設等の相互利用



1 事業概要

- 文化センター各施設の利用に関して、利便性向上のため、友好都市（小山市・結城市）の市民においては使用料をそれぞれの市民と同額とし利用促進を図っている。今後、関係市町との相互利用を検討する。
- 関係市町の社会教育施設等の圏域内利用について検討する。

2 期待される効果

- 圏域への流動人口の増加
- 流動人口増加に伴う経済効果
- 圏域住民の創造的な文化活動の機会の提供

3 役割分担

- 小山市 関係機関及び連携市町との協議、例規改正等
- 連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	0	0	令和5（2023）年度以降の事業費は事業の進捗及び協議により決定する。			
スケジュール	実施					

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

14 圏域内公共スポーツ施設の相互利用



1 事業概要

- 圏域住民を対象とする圏域内公共スポーツ施設の一斉開放日を設け、関係市町が施設の情報発信とPR活動を行う（1年に1回）。
- 圏域内公共スポーツ施設の相互利用及び活用促進のための情報交換を行う（1年に2回）。

2 期待される効果

- 圏域内公共スポーツ施設の相互利用による住民の利便性の向上と利用促進
- スポーツを通じた圏域内住民の交流促進及び活力のある圏域づくり

3 役割分担

- 小山市 圏域内スポーツ施設のPR及び相互利用促進
- 連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	0	0	令和5（2023）年度以降の事業費は事業の進捗及び協議により決定する。			
スケジュール	調査・研究	協議・検討	実施	推進	推進	/

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

C-d 公共施設の相互利用

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

15 図書館相互利用体制の充実強化



1 事業概要

- 圏域住民は、圏域内のすべての図書館を利用できる。
- 図書館のイベント情報等を圏域内の他の図書館に提供し、情報共有することで、広く参加者を募る。
- 各図書館の強みを生かした分担収集により、蔵書構築を図る。

2 期待される効果

- 圏域住民の図書館相互利用の増加
- 図書館を介して様々な情報に触れる機会が増加することにより、圏域住民の生活の質の向上が図られる。

3 役割分担

- 小山市 連携市町の意見等の取りまとめ、連絡・調整
- 連携市町 情報提供

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

D 産業振興

2



5



8



9



11



広域的な交通網や東京に近い北関東の産業圏域としての恵まれた立地特性を生かして、圏域で一体となって企業誘致を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進などにより、人材の確保と活力ある働きやすい職場づくりを促進します。

また、ユネスコ無形文化遺産の結城紬や、古代下野国の歴史、野木町煉瓦窯、結城廃寺跡や見世蔵など、誇れる史跡・文化財等を活用した観光の振興を図るため、地域資源のネットワーク化や情報発信等により、関係人口・交流人口の拡大に連携して取り組みます。

更に、地場産業・農業の振興を図るため、関係機関と連携しながら、畜産防疫情報などの相互提供や発信等に取り組みます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
雇用の確保	小山管内有効求人倍率の改善	1.18	▶ 1.55	16
働きやすい職場づくり	ワーク・ライフ・バランスの推進のための取組に対して認定または表彰を受けた事業所数	86 事業所	▶ 152 事業所	17
関係人口・交流人口の拡大	交流イベントの参加者数【年間】	5,000 人	▶ 7,000 人	19
地場産業・農業の振興	家畜伝染病発生時の緊急連絡網の整備及び畜産農家の所在地情報の交換を行った市町数	3市1町	▶ 3市1町	21



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

D a 企業誘致・雇用の確保



【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

16 雇用・企業誘致の広域連携による推進



1 事業概要

- 小山公共職業安定所（＝ハローワーク小山：事務局）・小山市・下野市・野木町・管内各商工会議所・商工会で小山地区雇用協会を組織し、各種の求人説明会・企業説明会・面接会等の開催や、様々な情報交換・情報発信等を行い、域内の雇用の確保と維持を図る。
- 結城市においても、小山市・下野市・野木町及び各商工会議所・商工会と連携するために検討を進める。
- 圏域内の工業団地・空き工場等への企業誘致や、誘致した企業の人材確保を広域で進める。

2 期待される効果

- 雇用（有効求人倍率）の改善
- 優れた労働力による企業経営の向上
- 圏域内経済の発展
- 企業を含めた交流の構築
- 企業誘致の促進・誘致企業の人材確保

3 役割分担

- 小山市** 市長が雇用協会の長となり、ハローワークと共に連携市町を牽引企業の誘致・人材確保等に必要の情報交換会を運営し情報を集約
- 連携市町** 情報交換や情報収集、各種事業の実施等に連携・協力

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	249	249	249	249	249	1,245
スケジュール	推 進	→				

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

17 ワーク・ライフ・バランスの推進



1 事業概要

- ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる事業所を認定・表彰することで、圏域内のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
- ワーク・ライフ・バランスに関して先進的な取組をしている事業所を広く紹介する。
- ワーク・ライフ・バランスへの理解を促進するため、圏域内の住民、事業所（経営者や管理職を含む）に向け、対象に合わせた内容の研修や講演会を、関係市町で情報交換や連携を図りながら実施する。

2 期待される効果

- ワーク・ライフ・バランスや働き方に対する意識の改革
- 関係市町による情報交換・連携による啓発事業の多様化
- 多様な生き方の選択・実現
- 家庭や職場、地域における男女の意識の変化

3 役割分担

- 小山市 啓発事業等の情報交換や情報収集、各種事業の実施等に連携・協力
- 連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	各市町の予算計上により確定する。					
スケジュール	推進				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

8 働きがいも
経済成長も

D b 観光資源の開発・活用

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

18 「史跡」と「花まつり」を活用した観光振興



1 事業概要

○天平の花まつり（下野市）と菜の花まつり（小山市）を相互周遊しながら、国指定史跡であり、県内最古で最大である摩利支天塚・琵琶塚古墳や同じく国指定史跡である下野国分寺跡・尼寺跡を含む天平の丘公園などを散策コースとして一体活用を図る。

2 期待される効果

○淡墨桜の開花から思川桜と菜の花、八重桜まで、長期間に渡って咲き誇る花とボランティア案内を活用した史跡散策の相乗効果による歴史への興味・関心の醸成と誘客

3 役割分担

小山市 事業全般の総括

連携市町 担当職員（事務局）による各市関係課との調整

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	0	0	0	0	0	0
スケジュール	イベントの 実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

19 本場結城紬を活用した観光振興



① 事業概要

- 本場結城紬を地域資源として活用した誘客事業（観光まちづくりの取組、きものウィーク等）を合同で実施する。
- 「小山きもの日」及び「きもの day 結城」開催時の相互協力による和装振興を図るとともに、結城紬の産地のPRを行い観光につなげる。

② 期待される効果

- 本場結城紬を観光資源として活用することによる交流人口の拡大
- 本場結城紬及び圏域、関係市の魅力のPR効果の拡大

③ 役割分担

小山市 共同事業の企画・実施及び主催事業への参加・協力

連携市町 同上

④ 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
スケジュール	イベント 実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

8 働きがいも
経済成長も

D c 地場産業の振興

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

20 本場結城紬の情報発信、販売網の拡大



1 事業概要

- 後継者育成として、技術者養成のための講習会の開催等を検討する。
- 普及宣伝・販路開拓として、卸商組合が中心となって開催する求評宣伝会に参加協力する。
- 新商品開発として外部アドバイザーとの連携や技術講習会の開催を検討する。
- 技術伝承を行いつつ、産地組合が一体となり結城紬全体の活性化を図る。

2 期待される効果

- 産地が一体となった技術者育成施策の推進による後継者の育成
- 産地自治体及び産地生産者組合の連携による普及宣伝効果の倍増
- 栃木県・茨城県と連携した技術研究事業による製作技術の研鑽

3 役割分担

小山市 本場結城紬振興協議会構成団体としての取組

連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	20,532	20,532	20,532	20,532	20,532	102,660
スケジュール	講習会等の 実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



D d 農業の振興

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

21 畜産防疫情報の交換・連携



1 事業概要

○家畜伝染病発生時の迅速な情報収集及び対処が重要であるため、関係市町間の緊急連絡網の整備及び畜産農家の所在地情報等の交換を行う。

2 期待される効果

○関係市町間の緊急連絡網の整備及び畜産農家の所在地情報等の交換による情報収集及び対処の迅速化

3 役割分担

小山市 畜産農家の把握及び発生時の連絡

連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

D-d 農業の振興

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

22 鳥獣被害対策事業

1 事業概要

○イノシシの捕獲数及び目撃件数が共に年々増え、その対策が求められており、地域の鳥獣被害対策協議会による草刈りなどの環境整備や、わなの設置及び管理、また鳥獣被害対策の情報共有などを広域的に行うことで、効果的に鳥獣被害対策を実施する。

2 期待される効果

○互いの知識や経験の共有による、鳥獣捕獲対策の改善
○広域的な協議により、鳥獣等の出没多発地点において効果的にわなを設置する位置を調整

3 役割分担

小山市 情報交換会の運営全般
連携市町 会議への参加及び情報交換

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	調査・実施	調査・実施	実施	→		/

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

E その他 [災害対策・環境共生]

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



住み慣れた地域で安全に安心して暮らせる圏域づくりに向けて、消防・防災における連携協力体制を強化するため、関係市町間及び自主防災会等、地域の組織同士の連携、更には、水道災害相互応援対策に取り組めます。

また、小山広域保健衛生組合管内における循環型社会の構築に向けた3Rの推進と、効率的なごみ処理の推進によりごみの減量化に取り組めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
災害時における連携強化	広域的訓練数	0回	▶ 年4回	23
消防体制の連携強化	消防本部間の広域的訓練数	0回	▶ 年4回	24
効率的なごみ処理	家庭系可燃ごみの1人1日当たりの排出量 (関係市町合計値)	469g	▶ 400g	26



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

E a 消防・防災協力体制の強化



【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

23 大規模災害時における相互協力



1 事業概要

○災害時における物資の提供及び応援職員の派遣等、関係市町で相互に連携し、広域的な防災力の強化を図る。

2 期待される効果

- 大規模災害発生時の広域避難所の確保・連携
- 防災情報の交換・共有
- 災害時の物資協力、人的応援による職務遂行の援助

3 役割分担

- 小山市 連携・協力の取りまとめ、先導
- 連携市町 関係市町と積極的に交流し、連絡体制を構築

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	2,667	1,544	令和5(2023)年度以降の事業費は事業の進捗及び協議により決定する。			
スケジュール	連携				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

24 消防体制の連携強化



1 事業概要

○消防体制においては、市町境で発生した火災等は速やかに相互に消防が出場し協力して災害防除活動を実施している。隣接消防本部との連携や、隣接市町で実施する訓練に参加し、更なる連携強化を図る。

2 期待される効果

- 市町境で発生した火災等における相互協力・活動による迅速な災害防除活動の実施
- 各組合消防との連携強化による市民・町民の安全安心の実現

3 役割分担

- 小山市 関係市町及び消防機関が実施する訓練に参加
- 連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	令和3(2021)年度以降の事業費は、事業の進捗及び協議により決定する。					
スケジュール	連携				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



1 生活機能の強化

E-a 消防・防災協力体制の強化

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

25 水道災害時相互応援活動の推進



1 事業概要

○関係市町は、日本水道協会茨城（栃木）支部水道災害相互応援対策要綱に準じた災害相互応援対策を行う。

2 期待される効果

○関係市町の水道担当課が主体になることによる災害時対応の迅速化
○関係市町の取水方法の違いによる地震や異常湧水等の災害時給水活動の実現

3 役割分担

小山市 相互に行う応援活動

連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	0	0	0	0	0	0
スケジュール	継続実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



E b 環境に配慮したごみ処理の推進

【関係市町】 ▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

26 効率的なごみの共同処理及び3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進



1 事業概要

- 小山広域保健衛生組合管内の各処理施設に合った分別収集方法としており、その中で、循環型社会に向けた3Rの推進も行っている。
- 関係市町で連携・協調して、効率的なごみの共同処理を推進し、ごみの減量化を図る。

2 期待される効果

- ごみの減量化及び施設の効率的な運用とごみ処理費用の削減
- 分別された資源の純度向上による資源売却金の増収
- 圏域住民のリサイクル意識の定着

3 役割分担

- 小山市** 小山広域保健衛生組合及び関係市町と連携した事業の推進
- 連携市町** 同上

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	15,000,000
スケジュール	継続実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

1 生活機能の強化

2 結びつきやネットワークの強化

生活利便性の向上を図るため、地域公共交通の連携強化や道路ネットワークの形成に取り組むとともに、渡良瀬遊水地や結城紬をはじめ、誇れる資源等を生かした関係人口・交流人口の拡大や移住・定住の促進に向けて、結びつきやネットワークの強化を進めます。



A 地域公共交通

地域公共交通については、高齢者等の交通弱者の移動手段の確保や生活利便性の向上を図るため、構成市町の公共交通会議等における協議を通じ、路線網の充実やダイヤの連携強化、運行方法の調整等に取り組めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
圏域住民の利便性 向上	バス交通の連携停留所数	1カ所	▶ 5カ所	27



2 結びつきやネットワークの強化



A a 地域公共交通の連携強化

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

27 コミュニティバス、デマンド交通の連携強化



1 事業概要

○関係市町が抱える公共交通の課題について、それぞれの公共交通会議等で協議し、路線の検討やダイヤの連携強化、運行方法の調整等について検討する。また、これらの課題について関係市町と協議し、連携協力することで利便性向上を図る。

2 期待される効果

- 関係市町の路線網を越境して相互乗り入れすることによる圏域内住民の利便性向上
- 路線網の充実による圏域住民の交流機会の増加

3 役割分担

- 小山市 住民ニーズや連携の要望等の把握、連携市町等への申し入れ
- 連携市町 公共交通等の相互連携検討

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	検討・評価 改善・実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



B ICTインフラ整備

圏域住民の交流促進を図るため、インターネットなど情報通信技術を積極的に活用することで、圏域内の情報の共有化等による生活利便性の向上、ICTに関する課題の共有による業務改善やシステムの適正化に連携して取り組みます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
圏域内の情報の共有化・発進力の強化	ICTに関する情報交換 項目数【年間】	3件	▶ 3件	28



2 結びつきやネットワークの強化



B a ICTに関する情報の共有・発信力強化

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

28 ICTに関する情報の共有等による業務改善



1 事業概要

○関係市町間の情報化計画・IT調達など、ICTに関する課題について情報共有する。

2 期待される効果

- 関係市町間の情報共有による業務改善
- 相互情報提供によるシステムコストの適正化

3 役割分担

- 小山市 ICTに関する情報提供、情報共有
- 連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	継続実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



C 道路等交通インフラ整備

生活利便性の向上や住民交流の促進、物流の強化、交通渋滞の緩和等を図るため、圏域内の市町間の連絡道路の整備など、効果的な道路ネットワークの形成に連携して取り組みます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
圏域内の道路ネットワークの整備	周辺市町間の連絡道路の整備延長距離	3.8km	▶ 7.3km	30



2 結びつきやネットワークの強化



C a 道路ネットワークの形成

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

29 小山下野線西通り整備事業の推進



1 事業概要

- 小山市と下野市との主要な連絡道路は国道4号と新4号国道に限られ、特に両市の中心部を結ぶ国道4号については慢性的な渋滞が発生している状況にある。
- 小山市の扶桑交差点と、下野市の都市計画道路小金井西通りをつなぎ下野市との道路ネットワークを強化することにより、国道4号の渋滞緩和が期待できる。
- 両市間を結ぶ重要都市間連絡道路であり、また、延長が長く多額の事業費を要することから、今後は栃木県による県道認定及び整備の実現を目指して両市で強く要望していく。

2 期待される効果

- 小山市・下野市間での交流拡大
- 産業における物流の強化及び国道4号の交通量減少による渋滞緩和

3 役割分担

- 小山市 栃木県への要望活動を実施
- 連携市町 栃木県への要望内容等の協議・調整

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	実施				→	/

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

30 県道及び小山野木線等市町間道路の整備促進



1 事業概要

- 野木・小山間道路整備促進協議会による県道等整備の要望活動（都市計画道路小山野木線、県道佐川野友沼線の延伸等）、連携して行う市町間道路の整備を促進する。
- 下野・小山間道路整備促進協議会による県道等整備の要望活動（県道小山下野線、小山下野線西通り等）、連携して行う市町間道路の整備を促進する。
- 小山市・結城市道路整備促進協議会等による県道等整備の要望活動（県道明野間々田線等）、連携して行う市町間道路の整備を促進する。

2 期待される効果

- 渋滞緩和等による圏域内交流促進
- 産業における物流の強化

3 役割分担

- 小山市** 各市町間道路整備促進協議会等が主となり、栃木県への要望活動、市町間道路の整備に関する協議等を実施
- 連携市町** 促進協議会への参加と負担金

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	90	90	90	90	90	450
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

2 結びつきやネットワークの強化

D 地産地消



圏域内経済の循環・活性化を図るため、消費者ニーズに対応した安全で高品質な地場製品のブランド化を図るとともに、圏域内のイベント情報の共有・情報発信、圏域内のイベントへの出展など、地域の生産者や消費者等の連携により、各市町の特色ある観光資源など地域資源の積極的活用、地場製品の消費拡大・PR等に取り組み、圏域内の交流を促進します。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
「地産地消」への理解の促進と消費拡大	圏域住民が参加する「地産地消」をテーマとするイベント開催数	0件	▶ 4件	31

D a 地域内消費の推進



【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

31 地域内経済循環の活性化に向けた普及啓発事業



1 事業概要

○関係市町で開催される「地産地消」をテーマとしたイベントにおいて、圏域内の他市町住民へも広く参加、出展を働きかけ、イベントを通じて圏域住民が他市町について知る機会や、市町間での交流の場を設けることで、圏域内での消費を促す。

2 期待される効果

- 圏域内における地場産品の有効活用・消費拡大による地域内経済循環の活性化
- 圏域内における商工業の振興

3 役割分担

- 小山市 地産地消をテーマとするイベント開催において圏域住民へのPRと参加の呼びかけ
- 連携市町 同上

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



2 結びつきやネットワークの強化

D-a 地域内消費の推進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

32 圏域内イベントによる交流



1 事業概要

○関係市町で開催されるイベントを協働してPR、また、イベント開催時に各市町のPRブースを設け、圏域住民の交流を促進する。

2 期待される効果

- 圏域内の交流人口の増加
- 圏域内連携に係る取組の周知

3 役割分担

小山市 関係市町で開催されるイベント情報の収集及び発信

連携市町 関係市町で開催されるイベントへの参加

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

E 地域内外住民との交流・移住促進

圏域外からの移住・定住を促進するため、東京から近く、通勤通学圏内という恵まれた立地や高い交通利便性ととも、豊かな自然環境と共生できる多様なライフスタイルやニーズに対応した、住みたい・住み続けたいと思う快適な生活環境が整った圏域の魅力を発信・PRし、圏域の認知度の向上や関係人口・交流人口の増加を図るなど、移住定住者の積極的な受け入れ体制の充実に連携して取り組みます。

また、多様な魅力を生かした圏域内外の住民交流の促進とともに、若者の出会いや交流を深める機会を創出し、次世代を担う若者の定住、関係人口・交流人口の促進に取り組みます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
移住・定住人口の増加	圏域の社会増加数 (転入超過数)【年間】	728人(R1)	▶ 1,000人	33
圏域内のとちぎ結婚支援センター会員の増加	圏域内のとちぎ結婚支援センター会員数	305人(R1)	▶ 320人	34



4-4 政策分野別具体的な取組

2 結びつきやネットワークの強化

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



E a 移住・定住促進につながる取組の推進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

33 移住・定住促進のための連携強化



1 事業概要

- 東京から約 50～80 km圏内という立地利便性を生かした関係人口の創出及び移住・定住促進のために、関係市町の魅力を発信する圏域外向けのリーフレットを継続して配布するとともに、ホームページ等を活用しプロモーション活動を行う。
- 関係市町の魅力を発信する新たな媒体及び新しい生活様式によるイベント・相談会等を調査・研究し、実施する。

2 期待される効果

- 関係市町の認知度向上、関係人口増加
- 移住・定住人口の増加
- 圏域で協働し、プロモーション活動を行うことによる効果の向上

3 役割分担

- 小山市 リーフレットの配布、新たな媒体・イベント等の調査・研究・取りまとめ
- 連携市町 リーフレットの配布、新たな媒体・イベント等の調査・研究

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	500	令和4(2022)年度以降の事業費は、事業の進捗及び協議により決定する。				
スケジュール	実施 調査・研究	実施	推進	→		

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

34 婚活事業の連携・推進



1 事業概要

- 「とちぎ結婚支援センター」の近隣市町への周知を強化し、会員を増やし、会員の出会いの可能性を広げる。
- 「とちぎ結婚支援センター小山」を活用し、結婚に向けた相談会の実施、出会い・結婚に関する情報提供を行う。
- ホームページや広報などによる広域の婚活事業の情報発信を行う。

2 期待される効果

- 結婚希望者への出会いや相談などの、より効果的なサポートの実施
- ニーズにあった、より魅力的な事業の提供
- 地元に限らず他市町からも含めた会員の増加

3 役割分担

- 小山市** 「とちぎ結婚支援センター小山」の周知強化（センター小山のチラシ等の作成、配布）
- 連携市町** 同上

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	367	367	367	367	367	1,835
スケジュール	実 施				→	/

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

2 結びつきやネットワークの強化

F その他〔市民活動の交流促進〕



渡良瀬遊水地第2調節池における市町民参加型の湿地保全活動など、圏域内外の住民交流や協働のまちづくりの促進に取り組みます。

地域のコミュニティやNPO・ボランティア活動等の自主性・自発性を尊重し、圏域内で活動する各団体同士の交流・情報交換の促進、圏域住民一人ひとりの個性や能力、豊かな経験や知識を生かした住民参加・参画活動、協働による圏域づくりに取り組みます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
圏域内の各団体同士の交流・情報交換	交流・情報交換会参加団体数（活動事例発表団体、見学団体など）【年間】	0団体	▶ 10団体	37

F a 渡良瀬遊水地の保全・利活用

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

35 渡良瀬遊水地第2調節池における市町民参加型の湿地保全活動

1 事業概要

- 「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」を継続的に展開する。
- 企業への表彰制度を活用し、参加者数や参加団体数の増加を図る。
- 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会に参加する関係自治体や団体等と連携し湿地の保全を推進する。

2 期待される効果

- 渡良瀬遊水地の湿地環境の保全推進
- 地域間や関係主体間での連携強化

3 役割分担

- 小山市 事業費の支出
- 連携市町 事業共催

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	800	800	800	800	800	4,000
スケジュール	推進				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

2 結びつきやネットワークの強化

F-a 渡良瀬遊水地の保全・利活用

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

36 コウノトリ・トキの野生復帰に向けた取組



1 事業概要

- 渡良瀬遊水地が東日本におけるコウノトリの繁殖拠点となるよう、渡良瀬遊水地及びその周辺エリアにおけるコウノトリ・トキの野生復帰に向けた取組を推進する。
- 関東地方がコウノトリやトキのかつての主要な分布域であったことや、これらの種が良好な水辺や緑地の指標となることから、多様な主体の協働・連携によるコウノトリ・トキの野生復帰を通じたエコロジカル・ネットワークの形成を図り、地域の振興と経済の活性化を促す魅力的な地域づくりの実現を目指す。

2 期待される効果

- 地域の振興と経済の活性化を促す魅力的な地域づくりの実現

3 役割分担

- 小山市 野生復帰事業の実施、関東自治体フォーラムでの連携・情報共有
- 連携市町 野生復帰事業への参加・協力、関東自治体フォーラムでの連携・情報共有

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	90	90	90	90	90	450
スケジュール	推進				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



F b 市民活動の交流促進

【関係市町】 ▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

37 市民活動の交流促進連携事業の実施

1 事業概要

- 関係市町間で市民活動の連携促進のための協議を行い、連携強化を図る。
- 各市町のボランティア団体、市民活動団体の相互交流会の実施及び各市町主催イベントへの相互参加を行うとともに、情報誌の相互配付等による情報交換を行う。
- 行政及びNPO等、市民活動を推進する団体間の連携・情報共有を促進する。

2 期待される効果

- それぞれの団体の活動内容等の情報交換による、活動の質の向上、活性化
- 圏域内のネットワークの強化による連携事業等の実施

3 役割分担

- 小山市** 関係市町合同のまちまつり事業において、小山市で計画・連絡調整等を行う
- 連携市町** 上記事業の実施協力（会場等）・参加団体募集など、連携・協力する

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	協議により決定する。					
スケジュール	計画・協議	実施			→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。



4-4 政策分野別具体的な取組

2 結びつきやネットワークの強化

F- b 市民活動の交流促進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

38 圏域内の広報紙の相互掲載



1 事業概要

○関係市町の広報紙にイベント等の情報を相互掲載する。

2 期待される効果

○情報を見た圏域住民がイベント等に参加することによる、住民満足度の向上と地域の活性化

3 役割分担

小山市 原稿提出・校正等のスケジュール調整

連携市町 原稿提出、相互に校正依頼・回答、広報紙への掲載

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費 (千円)	0	0	0	0	0	0
スケジュール	検討・実施	推 進			→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

3 圏域マネジメント能力の強化

圏域の共通課題の解決に向けて、より高度で多様な行政サービスの提供や効率的な行財政運営に取り組むため、圏域が一体的に連携し、人材育成や人事交流、外部人材の活用を図るとともに、圏域住民の交流や協働のまちづくりを推進するなど、圏域マネジメント能力の強化を進めます。

A 人材育成

職員の資質向上や人材育成のため、関係市町が主催する各研修制度等において、圏域内での共通認識の形成を図りつつ相互参加体制を構築することにより、圏域全体の行政能力の強化に取り組めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
職員の資質向上	研修参加者の満足度 (5段階評価)	4.0	▶ 4.0以上	39



3 圏域マネジメント能力の強化

A a 圏域内職員の資質向上・交流促進

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

39 職員研修制度の充実



1 事業概要

○小山地区職員研修協議会主催研修等への結城市からの研修参加を進めるとともに、結城市単独研修への小山市・下野市・野木町からの参加を進め、3市1町による協力体制のもと圏域内での研修への相互参加体制を継続する。

2 期待される効果

- 圏域内全体の職員の資質向上
- 圏域内職員間の交流促進

3 役割分担

- 小山市** 情報提供に努めるとともに連携市町との協力体制を維持し、圏域内の研修制度の充実を図る
- 連携市町** 各市町との協力体制を維持し、圏域内の研修制度の充実を図る

4 事業費とスケジュール

年 度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費（千円）	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000
スケジュール	継続実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込）を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

B 外部行政及び民間人材の確保

圏域の将来像を目指すうえでは、圏域を取り巻く状況の的確な把握や、圏域の活性化及び定住促進に向けた様々な取組を行うにあたっての専門知識・経験等が求められます。外部人材の支援を受けることにより、取組の実践及び推進体制の整備等に必要な専門家や民間人材の知識や経験等を活用するよう努めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
知識や経験等を生かした取組の実践・推進体制の整備	外部人材を用いた圏域住民・職員を対象としたセミナーの開催数【累計】	1回	▶ 5回	40



3 圏域マネジメント能力の強化

B a 専門家等の高度な人材の確保・共有化

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

40 外部人材の活用



1 事業概要

- 「生活機能」「結びつきやネットワーク」「圏域マネジメント能力」の強化を図るため、高度な知識・技能を有する専門家の派遣を受け、圏域住民・職員を対象としたセミナーを開催する。
- 圏域内での人口対策事業等実施にあたり、高度な知識・技能を有する外部人材の支援を受け、より効果的な事業へブラッシュアップしていく。

2 期待される効果

- 政策分野別具体的な取組の成果向上
- 圏域住民・職員の資質向上

3 役割分担

- 小山市 高度な人材の選定
- 連携市町 支援を受ける事業の選定

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	400	400	400	400	400	2,000
スケジュール	実施				→	

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

C 圏域内市町職員等の人事交流

関係市町の職員間における連帯意識を醸成し、相互理解を深めるとともに、地域的課題や業務ノウハウ等を共有し、圏域全体の行政力の強化を図るため、相互の職員派遣など、共に取り組める人事交流を実施することで、新たな施策や事業の創出に向けた組織体制の充実に取り組みます。

各市町の連携をより深化させるため、各連携事業ごとに関係市町の職員及び各種団体等が積極的に情報共有を図ることで、効率的・効果的な事業実施に努めます。

■成果指標

目指すべき成果	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]	対応する 事業
圏域全体の行政能力の強化	人事交流の派遣人数 【累計】	4人（R1より 各市1人ずつ交 流派遣）	10人（各市1人 ずつ交流派遣）	41



3 圏域マネジメント能力の強化

C a 職員の人事交流

【関係市町】▶ 小山市 下野市 野木町 結城市

41 圏域内職員の人事交流

1 事業概要

○関係市町が互いに情報を共有し、共に取り組める人事交流を実施することで、新たな施策や事業の創出につなげ、住みよい圏域づくりを目指す。

2 期待される効果

○関係市町のサービス提供の拡大、事業展開の加速、効率的な行財政運営等の相乗効果

3 役割分担

小山市 実施スケジュールの提案、人事交流に相応しい部署の提案・調整

連携市町 実施スケジュールの確認、交流部署の提案に対する意見や効果についての協議

4 事業費とスケジュール

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	計
事業費(千円)	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	60,000
スケジュール	継続実施	→				

※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込)を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

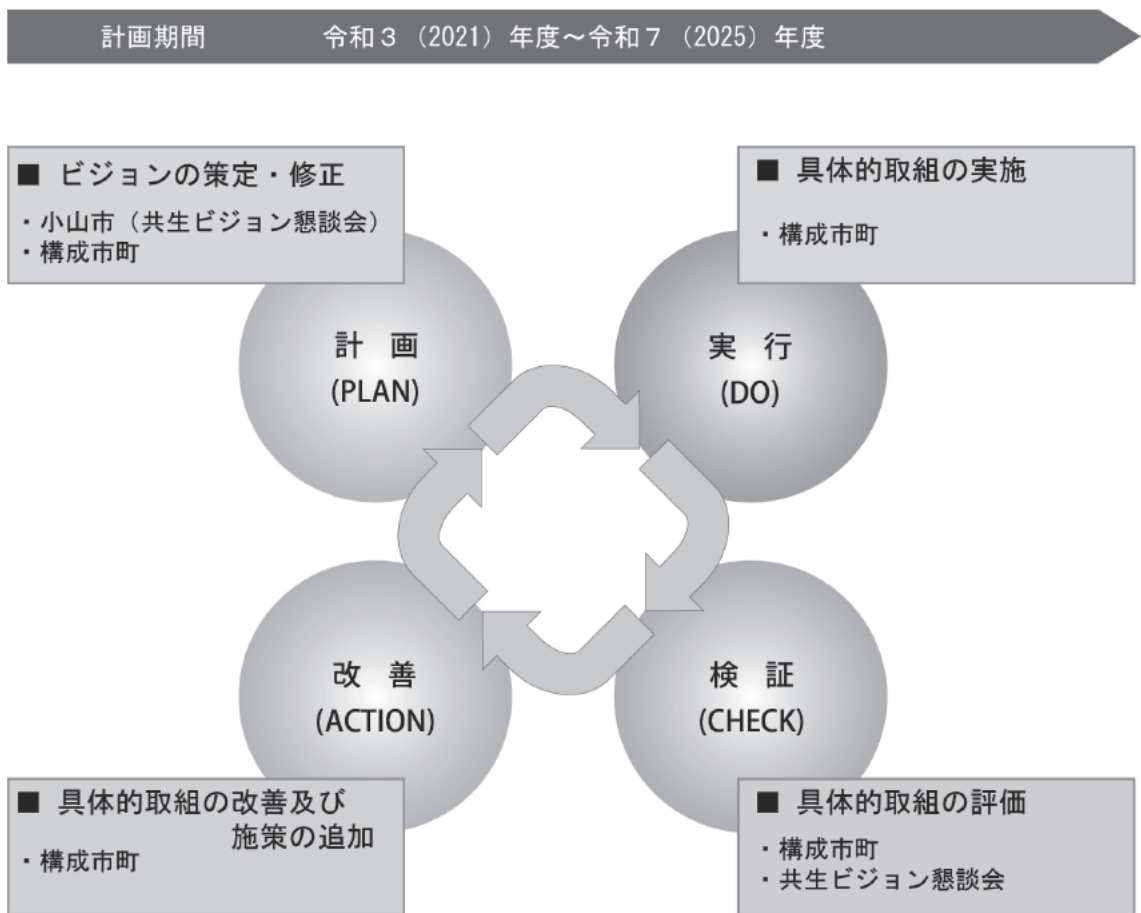
5 ビジョンの展開と進行管理

このビジョンは、策定後、定期的に具体的な取組の進捗状況を把握するとともに、取組の評価・検証を行い、その結果を反映させていく「計画（PLAN）」、「実行（DO）」、「評価（CHECK）」、「改善（ACTION）」の循環型のマネジメント（PDCAサイクル）に基づき、毎年度必要に応じて見直しを行います。

また、ビジョンの推進にあたっては、構成市町の関係各課、関係機関との連携はもとより、有識者などで構成する小山地区定住自立圏共生ビジョン懇談会等の意見を反映させながら、各種事業に取り組みます。

更に、成果指標（KPI：Key Performance Indicator）等の達成状況を踏まえて、次期の定住自立圏共生ビジョンを策定するものとします。

■ PDCAサイクル



令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8（2026）年度 ～令和12（2030）年度
第2期小山地区定住自立圏共生ビジョン {具体的取組の推進}					第3期小山地区 定住自立圏共生ビジョン
具体的取組の進捗・KPIの達成状況の把握と改善 【毎年度所要の見直し】					
				改定検討	



資-1 策定の経緯と体制

1 策定経緯

■ 第2期共生ビジョン策定の経緯

年 月 日	内 容
令和2（2020）年 7月20日（月）	第1回 小山地区定住自立圏連絡調整会議
8月20日（木）	小山地区定住自立圏共生ビジョン懇談会委員委嘱状交付式 及び第1回 懇談会
10月2日（金）	第2回 小山地区定住自立圏連絡調整会議
10月27日（火）	第3回 小山地区定住自立圏連絡調整会議
11月17日（火）	第2回 小山地区定住自立圏共生ビジョン懇談会
12月17日（木）	第4回 小山地区定住自立圏連絡調整会議
令和3（2021）年 2月2日（火） ～2月15日（月）	「第2期小山地区定住自立圏共生ビジョン（素案）」に対する パブリックコメント
3月（書面会議）	第3回 小山地区定住自立圏共生ビジョン懇談会
3月10日（水）	第2期小山地区定住自立圏共生ビジョン策定



2 策定体制

小山地区定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要領

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日付総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定に基づき、小山地区定住自立圏共生ビジョン（以下「共生ビジョン」という。）を策定又は変更するにあたり、関係者の意見を幅広く反映させるため、小山地区定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 共生ビジョンの策定又は変更に関すること。
- (2) その他小山地区定住自立圏構想の推進に関すること。

(組織)

第3条 懇談会は委員20人以内で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 定住自立圏の形成に関する協定書に掲げられた政策分野の関係者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 懇談会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選により選出する。

- 2 会長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 議長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、総合政策部総合政策課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要領は、平成28年4月7日から施行する。

■ 共生ビジョン懇談会委員名簿

No.	役職	市町名	政策分野等	委員名	選出団体等
1	会長	小山市	生活機能（産業）	おおもり 大森 武男	小山商工会議所 会頭
2	副会長	下野市	生活機能（福祉・観光）	すずい 鈴井 祐孝	下野市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター (下野市観光協会 元理事)
3	副会長	野木町	生活機能（福祉）	ちく 知久 善一	野木町社会福祉協議会 会長
4	副会長	結城市	生活機能（産業）	おくざわ 奥澤 武治	結城商工会議所 会頭
5	委員	小山市	生活機能（教育・文化）	あらい 荒井 友子	小山市教育委員会 教育委員
6	委員	小山市	生活機能（産業）	やまなか 山中 哲	小山市農業委員会 会長
7	委員	小山市	生活機能（医療・福祉・子育て・介護）	つかだ 塚田 錦治	小山地区医師会 会長
8	委員	小山市	生活機能（消防・防災）	ふくだ 福田 重昭	小山市自主防災会連絡協議会 会長
9	委員	小山市	結びつき（都市整備・公共交通）	おいぬま 生沼 一哉	一般旅客自動車運送事業者 友井タクシー(株) 観光事業部長
10	委員	小山市	全般（全般）	おおた 太田 敏幸	地域経済研究機関 ㈱あしぎん総合研究所 取締役本部長
11	委員	小山市	結びつき（住環境・都市整備）	ちえ 崔 熙元	小山工業高等専門学校 講師
12	委員	下野市	生活機能（医療・福祉・教育）	さまだ 佐間田 香	下野市総合計画審議会 委員 下野市教育委員会 教育委員
13	委員	下野市	生活機能（産業）	ちよう 長 光博	下野市商工会 会長
14	委員	野木町	生活機能（産業）	ひらまつ 平松 明男	野木町工場協会 日鉄建材(株)野木製造所 管理グループ長
15	委員	野木町	生活機能（産業）	てらうち 寺内 浩	野木町商工会 副会長
16	委員	結城市	生活機能（医療・福祉・子育て・介護）	あくい 阿久井 照子	結城市民生委員児童委員協議会 副会長
17	委員	結城市	全般（全般）	なかざわ 中澤 英雄	結城市自治協力員連合会 会長



資-2 連携事業関連資料

■ 連携事業各市町担当課一覧

※本ビジョンは令和3（2021）年3月に策定されたものですが、行政組織の名称については令和3（2021）年4月1日付けで実施する組織改編後の名称で表示しております。

政策分野	項目	事業名	関係市町			
			小山市	下野市	野木町	結城市
1 生活機能の強化	A. 医療健康	1 救急医療体制の充実強化	●健康増進課	●健康増進課	●健康福祉課	●健康増進課
		2 地域医療連携体制の充実強化	●健康増進課	●健康増進課	●健康福祉課	●健康増進課
	B. 福祉	3 病児保育事業の連携	●こども課	●こども福祉課	●こども教育課	●子ども福祉課
		4 高齢者と地域をつなぐ仕組みづくり	●高齢生きがい課	●高齢福祉課	●健康福祉課	●介護福祉課
		5 民生委員活動の連携・推進	●福祉課	●社会福祉課	●健康福祉課	●社会福祉課
		6 地域生活支援事業（日中一時支援、移動支援）の利用促進	●福祉課	●社会福祉課	●健康福祉課	●社会福祉課
	C. 教育	7 生涯学習を通じた交流推進	●生涯学習課	●生涯学習文化課	●生涯学習課	●生涯学習課
		8 中学生のスポーツ交流	●生涯スポーツ課	●スポーツ振興課	●生涯学習課	●スポーツ振興課
		9 総合的な学習の時間における地域学習の受入	●学校教育課	●学校教育課	●こども教育課	●指導課
		10 平和事業を通じた交流推進	●行政総務課	—	●こども教育課	●生涯学習課
		11 児童生徒の学習交流体験事業の推進	●教育総務課	●学校教育課	●こども教育課	●生涯学習課
		12 史跡・文化財施設の広域連携活用	●文化振興課	●文化財課	●生涯学習課	●生涯学習課
		13 文化施設・社会教育施設等の相互利用	●生涯学習課	●生涯学習文化課	●生涯学習課	●生涯学習課
		14 圏域内公共スポーツ施設の相互利用	●生涯スポーツ課	●スポーツ振興課	●生涯学習課	●スポーツ振興課
		15 図書館相互利用体制の充実強化	●中央図書館	●生涯学習文化課	●生涯学習課	●生涯学習課
	D. 産業振興	16 雇用・企業誘致の広域連携による推進	●工業振興課	●商工観光課	●産業課・未来開発課	●商工観光課
		17 ワーク・ライフ・バランスの推進	●人権・男女共同参画課	●市民協働推進課	●生活環境課	●まちづくり協働課
		18 「史跡」と「花まつり」を活用した観光振興	●文化振興課	●商工観光課	—	—
		19 本場結城紬を活用した観光振興	●工業振興課	—	—	●商工観光課
		20 本場結城紬の情報発信、販売網の拡大	●工業振興課	●商工観光課	—	●商工観光課
		21 畜産防疫情報の交換・連携	●農政課	●農政課	●産業課	●農政課
		22 鳥獣被害対策事業	●農政課	●農政課	●産業課	—
	E. 環境共生 〔災害対策・その他〕	23 大規模災害時における相互協力	●危機管理課	●安全安心課	●総務課	●防災安全課
		24 消防体制の連携強化	●消防総務課	●安全安心課	●総務課	●防災安全課
		25 水道災害時相互応援活動の推進	●上下水道総務課	●水道課	●上下水道課	●水道課
		26 効率的なごみの共同処理及び3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	●環境課	●環境課	●生活環境課	—

政策分野	項目	事業名	関係市町				
			小山市	下野市	野木町	結城市	
2 結びつきやネットワークの強化	A. 地域公共交通	27 コミュニティバス、デマンド交通の連携強化	● 都市計画課	—	● 都市整備課	● 企画政策課	
	B. ICTインフラ整備	28 ICTに関する情報の共有等による業務改善	● 情報政策課	● 総合政策課	● 未来開発課	● 総務課	
	C. 道路等交通インフラ整備	29 小山下野線西通り整備事業の推進	● 道路課	● 建設課	—	—	
		30 県道及び小山野木線等市町間道路の整備促進	● 都市計画課	● 建設課	● 都市整備課	● 土木課	
	D. 地産地消	31 地域内経済循環の活性化に向けた普及啓発事業	● 農政課 ● 商業観光課	● 農政課 ● 商工観光課	● 産業課	● 農政課 ● 商工観光課	
		32 圏域内イベントによる交流	● 商業観光課	● 商工観光課	● 産業課	● 商工観光課	
	E. 地域内外住民との交流・移住促進	33 移住・定住促進のための連携強化	● シテイプロ ● モーション課	● 総合政策課	● 未来開発課	● 企画政策課	
		34 婚活事業の連携・推進	● 子育て家庭 ● 支援課	● こども福祉課	● 生涯学習課	● 企画政策課	
	F. その他 「市民活動の交流促進」	35 渡良瀬遊水地第2調節池における市町民参加型の湿地保全活動	● 自然共生課	—	● 産業課	—	
		36 コウノトリ・トキの野生復帰に向けた取組	● 自然共生課	—	● 産業課	● 企画政策課	
		37 市民活動の交流促進連携事業の実施	● 市民生活安心課	● 市民協働推進課	● 生活環境課	● まちづくり協働課	
		38 圏域内の広報紙の相互掲載	● シテイプロ ● モーション課	● 総合政策課	● 総務課	● 秘書課	
	3 圏域マネジメント能力の強化	A. 人材育成	39 職員研修制度の充実	● 職員研修所	● 総務人事課	● 総務課	● 総務課
		B. 外部行政及び民間人材の確保	40 外部人材の活用	● 総合政策課	● 総合政策課	● 政策課	● 企画政策課
C. 圏域内市町職員等の人事交流		41 圏域内職員の人事交流	● 職員課	—	—	● 総務課	



■ 第2期小山地区定住自立圏共生ビジョン活動指標一覧

政策分野	項目中項目NO	事業名	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1 生活機能の強化	A. 健康・医療				
	a. 地域医療ネットワークの連携強化				
	1	救急医療体制の充実強化	小山夜間休日急患診療所の利用者数の割合 (人口10万対)	小山市：55.5% 下野市：9.0% 野木町：24.0% 結城市：11.5%	小山市外の圏域住民の利用増
	2	地域医療連携体制の充実強化	地域医療啓発事業の周知数	4件	12件以上
	B. 福祉				
	a. 子育て環境の整備				
	3	病児保育事業の連携	病児保育事業の利用状況	小山市 70人 下野市 11人 野木町 5人 結城市 1人 (R1)	連携市町の利用者の増加
	b. 在宅医療・介護体制の整備				
	4	高齢者と地域をつなぐ仕組みづくり	地域で何らかの活動に参加している高齢者の方の増加	小山市 50.5% 下野市 52.6% 野木町 53.4% 結城市 20.3%	全市町で参加率の増加
	5	民生委員活動の連携・推進	民生委員の充足率	96.5%	100%
	c. 障がい者支援体制の充実				
	6	地域生活支援事業 (日中一時支援、移動支援) の利用促進	関係市町における相互利用可能な移動支援事業所数【累計】	7事業所	15事業所
	C. 教育				
	a. 生涯学習の推進				
	7	生涯学習を通じた交流推進	関係市町からの生涯学習講座受講生受入数【累計】	230人	250人
b. 小中学生の交流促進					
8	中学生のスポーツ交流	運動部活動スポーツ交流事業を実施している部活動競技種目の割合	0%	80%	
9	総合的な学習の時間における地域学習の受入	関係市町の全小中学校における「総合的な学習の時間」を通じた学び合いや交流活動の計画・実施	40%	80%	
10	平和事業を通じた交流推進	派遣された中学生による報告会開催数【累計】	0回	85回	
11	児童生徒の学習交流体験事業の推進	小山市学習交流事業への連携市町からの参加人数【年間】	23人 (R1)	45人	
c. 歴史・文化的資源の活用					
12	史跡・文化財施設の広域連携活用	関係市町で連携した歴史的資産活用の取組数 (相互周知、パンフレット、スタンプラリーなど) 【毎年1事業、目標年度で合計4事業】	4事業	8事業	
d. 公共施設の相互利用					
13	文化施設・社会教育施設等の相互利用	関係市町の文化施設・社会教育施設の相互利用可能 (料金体系含む) な施設の割合	50%	50%	
14	圏域内公共スポーツ施設の相互利用	関係市町連携による公共スポーツ施設相互利用促進のためのPR事業の実施 (1年に1回) 【累計】	0回	3回	
15	図書館相互利用体制の充実強化	イベント等の情報共有回数	0回	12回	

政策分野	項目中項目NO	事業名	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)	
1 生活機能の強化	D. 産業振興					
	a. 企業誘致・雇用の確保					
	16	雇用・企業誘致の広域連携による推進	小山管内有効求人倍率の改善	1.18	1.55	
	17	ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランスの推進のための取組に対して認定または表彰を受けた事業所数	86事業所	152事業所	
	b. 観光資源の開発・活用					
	18	「史跡」と「花まつり」を活用した観光振興	イベント開催による来場者数	0人	10,000人	
	19	本場結城紬を活用した観光振興	交流イベントの参加者数【年間】	5,000人	7,000人	
	c. 地場産業の振興					
	20	本場結城紬の情報発信、販売網の拡大	糸つむぎ・真綿かけ技術者育成講座参加者数【年間延べ人数】	400人	500人	
	d. 農業の振興					
	21	畜産防疫情報の交換・連携	家畜伝染病発生時の緊急連絡網の整備及び畜産農家の所在地情報の交換を行った市町数	3市1町	3市1町	
	22	鳥獣被害対策事業	情報交換会議の開催数	1	5	
	E. その他【災害対策・環境共生】					
	a. 消防・防災協力体制の強化					
	23	大規模災害時における相互協力	広域的訓練数	0回	年4回	
	24	消防体制の連携強化	消防本部間の広域的訓練数	0回	年4回	
	25	水道災害時相互応援活動の推進	合同研修会の開催【年間】	1回	5回	
	b. 環境に配慮したごみ処理の推進					
	26	効率的なごみの共同処理及び3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	家庭系可燃ごみの1人1日当たりの排出量（関係市町合計値）	469g	400g	
	ネット 2 結び び つ き 強 化	A. 地域公共交通				
		a. 地域公共交通の連携強化				
		27	コミュニティバス、デマンド交通の連携強化	バス交通の連携停留所数	1カ所	5カ所
B. ICTインフラ整備						
a. ICTに関する情報の共有・発信力強化						
28		ICTに関する情報の共有等による業務改善	ICTに関する情報交換項目数【年間】	3件	3件	
C. 道路等交通インフラ整備						
a. 道路ネットワークの形成						
29		小山下野線西通り整備事業の推進	栃木県への要望活動の実施【年間】	1回	1回	
30		県道及び小山野木線等市町間道路の整備促進	周辺市町間の連絡道路の整備延長距離	3.8km	7.3km	
D. 地産地消						
a. 地域内消費の推進						
31	地域内経済循環の活性化に向けた普及啓発事業	圏域住民が参加する「地産地消」をテーマとするイベントの開催数	0件	4件		
32	圏域内イベントによる交流	圏域内の交流イベント開催数【年間】	0回	4回		



資-2 連携事業関連資料

政策分野	項目中項目NO	事業名	指標名	現状値 [R 2 (2020)]	目標値 [R 7 (2025)]
ネットワークの結びつき強化	E. 地域内外住民との交流・移住促進				
	a. 移住・定住促進につなげる取組の推進				
	33	移住・定住促進のための連携強化	圏域の社会増加数（転入超過数）【年間】	728人（R 1）	1,000人
	34	婚活事業の連携・推進	圏域内のとちぎ結婚支援センター会員数	305人（R 1）	320人
	F. その他【市民活動の交流促進】				
	a. 渡良瀬遊水地の保全・利活用				
	35	渡良瀬遊水地第2調節池における市町民参加型の湿地保全活動	参加人数【年間延べ数】	1,500人（見込）	2,400人
	36	コウノトリ・トキの野生復帰に向けた取組	コウノトリの野外繁殖個体数【累計】	2羽	10羽
	b. 市民活動の交流促進				
	37	市民活動の交流促進連携事業の実施	交流・情報交換会参加団体数（活動事例発表団体、見学団体など）【年間】	0団体	10団体
38	圏域内の広報紙の相互掲載	広報紙相互掲載（毎月1回）	0回	毎月1回	
3 圏域マネジメント能力の強化	A. 人材育成				
	a. 圏域内職員の資質向上・交流促進				
	39	職員研修制度の充実	研修参加者の満足度（5段階評価）	4.0	4.0以上
	B. 外部行政及び民間人材の確保				
	a. 専門家等の高度な人材の確保・共有化				
	40	外部人材の活用	外部人材を用いた圏域住民・職員を対象としたセミナーの開催数【累計】	1回	5回
	C. 圏域内市町職員等の人事交流				
a. 職員の人事交流					
41	圏域内職員の人事交流	人事交流の派遣人数【累計】	4人（R 1より各市1人ずつ交流派遣）	10人（各市1人ずつ交流派遣）	

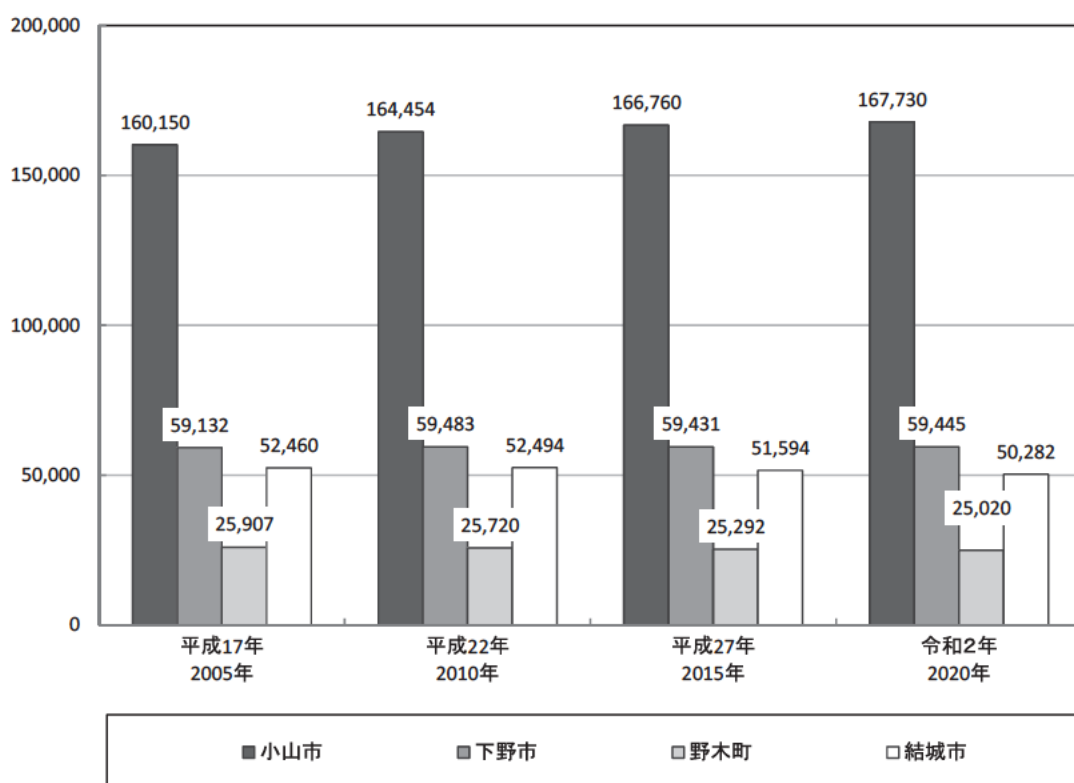
資-3 圏域の人口等

3-1 人口の推移

(人)

	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	増減率 R2/H27
小山市	155,198	160,150	164,454	166,760	167,730	0.58%
下野市	57,447	59,132	59,483	59,431	59,445	0.02%
野木町	26,674	25,907	25,720	25,292	25,020	-1.08%
結城市	52,774	52,460	52,494	51,594	50,282	-2.54%
圏域計	292,093	297,649	302,151	303,077	302,477	-0.20%

(人)



資料：国勢調査（各年10月1日現在）
※令和2（2020）年のみ毎月人口調査（10月1日現在）

3-2 世帯数の推移

(世帯)

	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	増減率 R2/H27
小山市	52,760	57,225	62,844	65,792	71,076	8.03%
下野市	17,901	19,378	20,501	21,394	23,106	8.00%
野木町	8,347	8,568	9,122	9,530	10,192	6.95%
結城市	15,835	16,589	17,466	18,267	19,353	5.95%
圏域計	94,843	101,760	109,933	114,983	123,727	7.60%

資料：国勢調査（各年10月1日現在）
※令和2（2020）年のみ毎月人口調査（10月1日現在）

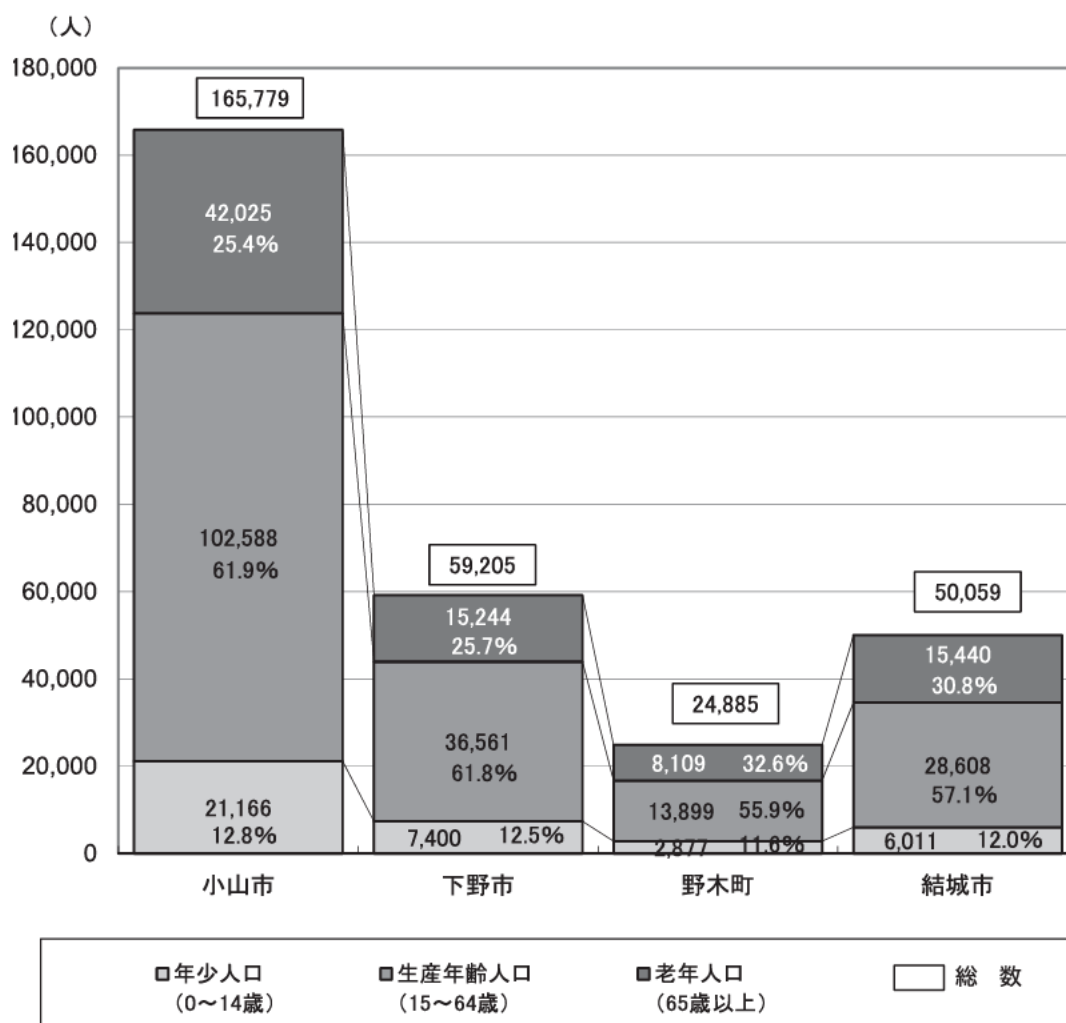


3-3 年齢別人口（年齢3区分人口）

(人)

	小山市	下野市	野木町	結城市	圏域計
年少人口 (0~14歳)	21,166	7,400	2,877	6,011	37,454
生産年齢人口 (15~64歳)	102,588	36,561	13,899	28,608	181,656
老年人口 (65歳以上)	42,025	15,244	8,109	15,440	80,818
総数	165,779	59,205	24,885	50,059	299,928

※人口総数は年齢不詳者を除く



資料：栃木県毎月人口調査
茨城県常住人口調査
(ともに令和2(2020)年10月1日)

3-4 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率

●平成27(2015)年 (人)

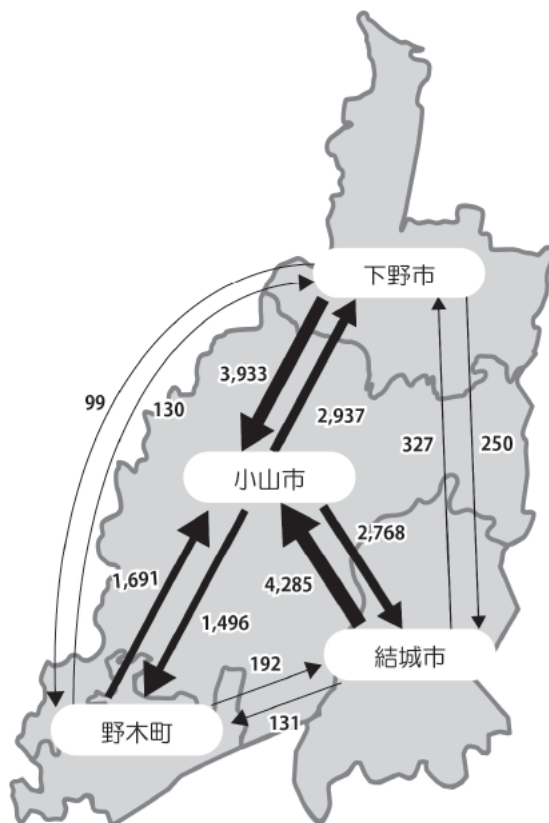
	従業地・通学地 による人口 [昼間人口] (a)	常住地による 人口 [夜間人口] (b)	昼夜間人口比率 (a) / (b) × 100
小山市	166,226	164,454	101.1
下野市	53,976	59,483	90.7
野木町	20,659	25,720	80.3
結城市	48,287	52,494	92.0

資料：国勢調査（平成27（2015）年10月1日現在）

3-5 圏域内の流入・流出（通勤・通学）

●平成27(2015)年 (人)

	小山市	下野市	野木町	結城市	流入数 計	流入-流出
小山市	-	3,933	1,691	4,285	9,909	2,708
下野市	2,937	-	130	327	3,394	-888
野木町	1,496	99	-	131	1,726	-287
結城市	2,768	250	192	-	3,210	-1,533
流出数計	7,201	4,282	2,013	4,743	18,239	



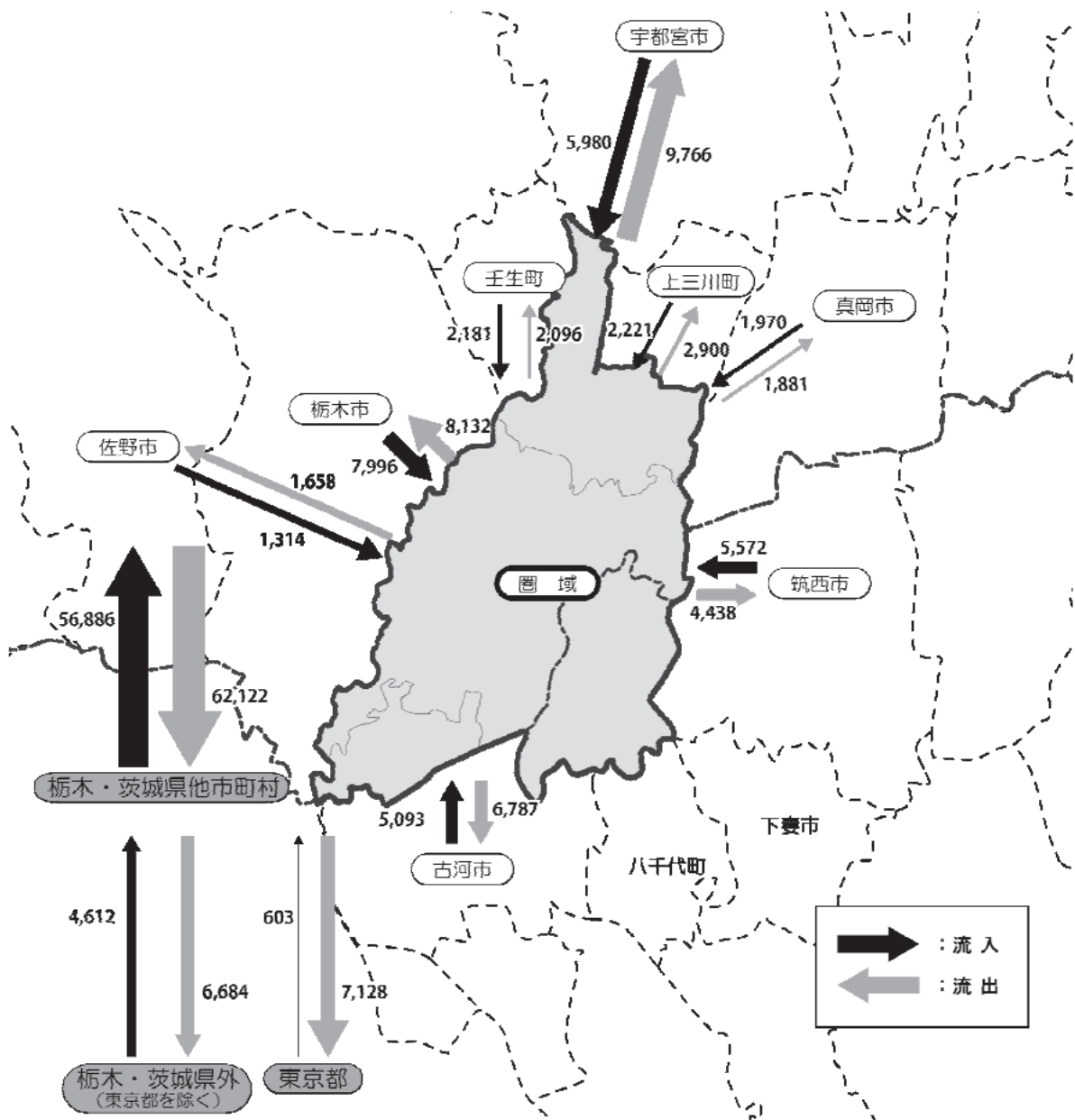
資料：国勢調査（平成27（2015）年10月1日現在）



3-6 圏域外への流入・流出（通勤・通学）

●平成27（2015）年 (人)

	流入	流出	流入-流出
栃木・茨城県内各市町村計	56,886	62,122	-5,236
筑西市	5,572	4,438	1,134
壬生町	2,181	2,096	85
栃木市	7,996	8,132	-136
真岡市	1,970	1,881	89
佐野市	1,314	1,658	-344
上三川町	2,221	2,900	-679
古河市	5,093	6,787	-1,694
宇都宮市	5,980	9,766	-3,786
栃木・茨城県外計	5,215	13,812	-8,597
うち東京都	603	7,128	-6,525



資料：国勢調査（平成27（2015）年10月1日現在）

第 2 期小山地区定住自立圏共生ビジョン

令和 3（2021）年 3 月策定

発 行 小 山 市
<https://www.city.oyama.tochigi.jp/>
企画・編集 総合政策部総合政策課

郵便番号 323-8686
栃木県小山市中央町 1 丁目 1 番 1 号
TEL 0285-22-9355（直通）
FAX 0285-22-9546